

# WBT コースカタログ 読み方ガイド

Version 2.0

2003.03.31

先進学習基盤協議会  
WBT コース表示項目検討委員会

## 目次

1. はじめに .....	1
2. 目的 .....	1
3. <b>WBT</b> コース表示項目の構成 .....	1
4. 今後の活用のイメージ .....	2
5. 注意点 .....	3
6. <b>WBT</b> コース表示項目の説明 .....	5
6. 1 コース基本情報 .....	5
6. 2 学習環境情報 .....	7
6. 3 サービス基本情報 .....	8
6. 4 コンテンツ情報 .....	10
6. 5 学習者サービス情報 .....	12
7. 最後に .....	13

<改訂履歴>

本ガイドブックは 2001 年度に先進学習基盤協議会コンテンツ部会の e-Learning 評価項目検討ワーキンググループ(WG)にて作成した「WBT コースカタログ読み方ガイド Version 1.0」をもとに、2002 年度に WBT コース表示項目検討委員会で検討を加えて改訂版として公開するものです。

**先進学習基盤協議会 コンテンツ部会 e-Learning 評価項目検討 WG(2001 年度)**

<執筆者>

新目 真紀	(株式会社ケアブレインズ)
古賀 暁彦	(学校法人産業能率大学)
鈴木 あゆみ	(エヌ・ティ・ティ・ソフトウェア株式会社)
高岡 良行	(東光精機株式会社)
森嶋 美和子	(富士通オフィス機器株式会社)
山形 優子	(株式会社テプコシステムズ)

**WBT コース表示項目検討委員会(2002 年度)**

<主査>

根本 孝	(明治大学)
------	--------

<委員>

安達 知子	(株式会社日立インフォメーションアカデミー)
北村 士朗	(株式会社東京海上ヒューマン・リソース・アカデミー)
金沢 澄雄	(財団法人社会通信教育協会)
古賀 暁彦	(学校法人産業能率大学)
高岡 良行	(東光精機株式会社)
宗重 隆	(学校法人河合塾)
宮澤 修二	(株式会社アイテック)
山内 一郎	(財団法人社会通信教育協会)
渡邊 岳彦	(NTT コムウェア株式会社)

## 1．はじめに

### (1)背景

WBT コースのカタログや Web 上の説明を読む時、書かれている内容がよくわからなかったり、どんな点に留意して読んだら良いのか分からなかったりすることありませんか？

先進学習基盤協議会(ALIC)コンテンツ部会 e-Learning 評価項目検討ワーキンググループ(以下 WG)では「ユーザが WBT コースを選択しやすい環境をつくる」ため「WBT コースカタログ読み方ガイド」を作成することになりました。

ガイド作成にあたっては、各社の WBT コースのパンフレットや Web での説明から頻出する表示項目と表示の仕方をチェックし、最大公約数としての「WBT 表示項目」を作成しました。この「WBT 表示項目」に基づき読み方を解説したのがこの「WBT コースカタログ読み方ガイド」です。

### (2)「評価」or「表示」

当初 WG では、ユーザが良質な WBT コースを選択できるための評価基準が必要だという考えから出発しました。しかし、コースの良し悪しを問うと、評価者や評価基準をつくる人の主観(学習に関する考え方、Web ユーザビリティに対しての思想)が入ってしまい客観的な基準の合意形成に時間がかかってしまいます。また、現在の日本では「良し悪し」を問うほどコースが充実しておりません。そこで「評価」するのではなく最大公約数としての「WBT 表示項目」をリストアップし、ユーザの皆様がそれらの意味を理解できることの方が現在の日本の e ラーニング業界にとって役に立つのではという声があがり、「WBT 表示項目」とその読み方についてのガイドを検討することになりました。

従って、今回のガイドはユーザの皆様にとっては、WBT コース選択の最初の段階で使っていただくような項目(や機能の有無)を対象としています。WBT コースあるいは提供者側の商業ベースの記述(セールスポイント等)は、各社ホームページ等にてお願いいたします。

最終的な善し悪しを判断するための情報の表示でないということをご理解願います。

## 2．目的

### (1)対象(ユーザ)

学習者と企業の教育担当者で WBT コースの受講(導入)を検討している人

### (2)目的

WBT コースの受講(導入)の選択に際し、上記ユーザが必要最低限押さえておくべき最大公約数としての表示項目をリストアップし、その意味とコース選択の際の留意点をガイドにまとめることで、ユーザの WBT コース選択時の意思決定を支援する。

## 3．WBT コース表示項目の構成

全体で49の表示項目から構成されます。これらの表示項目は「学習環境情報」、「サービス

基本情報」、「コンテンツ情報」、「学習者サービス情報」の4つに大別されます。

#### (0)コース基本情報

この分類には当該 WBT コースの基本となる、コース名、提供会社名等の情報が含まれます。

#### (1)学習環境情報

この分類には当該 WBT コースを受講する上で必要となるパソコンのスペック(ハード、OS、ソフト)と通信環境についての11項目が含まれます。

#### (2)サービス基本情報

この分類には当該 WBT コースを受講する際の申し込み単位、受講料、学習者管理機能の有無等、学習サービスの基本情報についての14項目が含まれます。

#### (3)コンテンツ情報

この分類には当該 WBT コースの期間、学習内容、対象者、学習方法、学習メディアなどについての15項目が含まれます。

#### (4)学習者サービス情報

この分類には学習内容に関する質問の受け付け、メンタリング、ヘルプデスク等サービスについての9項目が含まれます。

各表示項目の説明については「6. WBT コース表示項目の説明」を、また表示項目の一覧については別紙「WBT コース表示項目一覧」を参照してください。

## 4. 今後の活用のイメージ

今後 ALIC では、以下のような活用イメージを検討していきます。

#### (1)WBT コース検索サイトの提供

各社の WBT コースが表示項目の条件で検索可能な Web サイトの構築と提供。

- (a)ジャンル、キーワード等で大まかな検索ができる
- (b)上記条件に合致するコースを一覧表示できる
- (c)一覧の中からさらに細かい条件で絞り込み検索ができる
- (d)コースの詳細の表示ができる

といった利用を想定しております。

#### (2)WBT コース登録ツールの提供

上記検索を可能とするため、教育事業者用の登録機能の開発と提供。

- (a)クライアント PC や Web 上での WBT 表示項目登録ツール
- (b)標準データ形式ファイルを一括して入力できる
- (c)コース共通情報を一括して入力できる 等

を検討していきます。

## 5 . 注意点

この WBT 表示項目に従って WBT コースの内容をチェックする際の注意点が 4 つあります。

### (1)機能がたくさんついているコースがいいコースとは限らない

学習機能がたくさんついているコースであっても、自分(自組織)の学習にとって必要のないものであればあっても無駄です。「〇〇機能あり」の数が一番多いコースがいいコースではありません。まずはご自身が必要だと思われる学習機能が何なのかを明確にした上で検索するよう心がけてください。

そこで、この冊子では「この機能が有るとこんな学習が可能」あるいは「この機能がない場合、こういったことができません」といった項目の「意味」をできるだけ解説するようにしております。

### (2)使える環境がなければ学習はできない

最初にチェックしていただきたいのは「学習環境」です。いくら良いコースでもパソコンのスペックやネットワーク環境によって学習できないものがあります。「学習環境」に制約条件がある場合、ジャンルやキーワードで検索した後かならず学習環境をチェックしてください。

### (3)コンテンツだけでなくサービスにも注意を払う

本ガイドラインでは『コース = コンテンツ(=教材)+サービス』としてとらえています。単に Web 上のコンテンツだけでなく、質問対応等の学習者サービス情報、申し込み方法や学習管理等に関するサービスの基本情報にも注意を払いましょう。従来の公開セミナーや通信教育と異なり、WBT では様々なサービスレベルが設定可能です。自分(自組織)が必要とするサービスレベルを想定した後、チェックすることをお勧めします。

### (4)価格の表示について

今回のガイドラインは 1 人あたりの受講料(個人料金)、もしくは団体料金での表示ができるようにしております。ただし、今後様々な e ラーニングコースの価格モデルが出てくることが予想されますので、表示方法についても柔軟に対応していきたいと思います。

<WBT 表示項目 見本>

コース基本情報

コース名	
会社名	× × × × × × × ×
担当部署	
問い合わせ	03-xxxx-xxxx
URL	http://www.xxxx.com/
提供モデル	ASP
(備考欄)	

(1) 学習環境情報

PCスペック		
1	ハードウェア制限	Pentium以降
2	ディスク容量	10MB以上の空き容量
3	画面解像度	最低 800*600Pic以上 推奨 800*600Pic以上
4	CD-ROM	不要
5	OS	<input checked="" type="checkbox"/> Win95 <input checked="" type="checkbox"/> Win98 <input checked="" type="checkbox"/> Win98SE <input checked="" type="checkbox"/> Win Me <input checked="" type="checkbox"/> Win NT <input checked="" type="checkbox"/> Win2000 <input type="checkbox"/> Win XP <input type="checkbox"/> Mac7.x <input type="checkbox"/> Mac8.x <input type="checkbox"/> Mac9.x <input type="checkbox"/> MacX <input checked="" type="checkbox"/> その他(備考欄)
6	ブラウザバージョン	対応 IE4.01sp2 推奨 IE5.5sp1以上
7	Cookieの利用	要
8	必要なソフトウェア (プラグインソフト含む)	IE4.01sp2

通信環境

9	通信速度	最低 56Kbps以上 推奨 64Kbps以上
10	メールアドレス	要
11	学習環境情報...備考欄	WinXPは調査中です。JAVASクリプトを利用します

(2) サービス基本情報

申込方法		
12	申込単位	法人のみ
料金		
13	受講料(コース料金)	個人料金(円) 15750 消費税込 団体料金(人当り円)
14	オプション料金	あり
15	キャンセル時の規定	あり
16	支払い方法	<input type="checkbox"/> 個人払い <input checked="" type="checkbox"/> 法人一括払い <input type="checkbox"/> その他(備考欄)
17	料金...備考欄	
学習者管理		
18	管理機能の有無	あり
19	学習者への連絡機能	あり
20	プライバシーポリシー	あり
21	SSL対応	対応のみ
22	修了判定の有無	あり
23	修了証書の有無	あり(データファイル)
24	公的援助,認定	なし
25	サービス基本情報...備考欄	オプションおよびサービス料金に関しては上記までお問合せください

(3) コンテンツ情報

基本情報

26	開発元	× × × × × ×
27	制作改定年月	制作年月 200004 改定年月 200312

期間情報

28	延べ学習時間/標準学習時	15時間
29	在籍期間	4ヶ月
30	期間情報...備考欄	

テーマと対象

31	ジャンル(企業内教育)	<input checked="" type="checkbox"/> 階層別教育/マネジメント <input type="checkbox"/> 計数/経理/財務 <input type="checkbox"/> 営業/販売/マーケティング/サービス <input type="checkbox"/> 技術/生産/製造/開発/品質/ISO <input checked="" type="checkbox"/> ビジネススキル/ビジネス知識 <input type="checkbox"/> その他
	ジャンル(学校教育)	<input type="checkbox"/> 階層別教育/初等・中等・高等 <input type="checkbox"/> 教科教育 <input type="checkbox"/> 専門教育 <input type="checkbox"/> その他
	ジャンル(共通)	<input type="checkbox"/> 語学/国際業務 <input type="checkbox"/> 趣味教養 <input type="checkbox"/> IT/OA/コンピュータ <input type="checkbox"/> 資格/検定 <input type="checkbox"/> その他
32	対象とする階層、職種、業種	
33	受講前提	特定しない ありの場合

学習内容

34	概要 (学習目標/ねらい/章立て等)	今日の経営戦略について、その全体像と一般的な課題を確認するとともに、自社の戦略を理解するために必要なポイントを理解します。
35	学習内容詳細の参照 先の有無	あり 参照先URL http://www.xxxx.com/
36	試用版の有無	なし 提供方法や 試用範囲

学習メディア・学習方法

37	学習メディア	標準 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン教材 <input type="checkbox"/> スクリーニング <input type="checkbox"/> 紙テキスト <input checked="" type="checkbox"/> CD-ROM/DVD等メディア <input type="checkbox"/> その他の教材 オプション <input type="checkbox"/> オンライン教材 <input type="checkbox"/> スクリーニング <input type="checkbox"/> 紙テキスト <input type="checkbox"/> CD-ROM/DVD等メディア <input type="checkbox"/> その他の教材 その他の教材
38	準拠している標準規格	なし 規格とVer.
	動作確認済みLMS	
39	学習方法	動画ストリーミング <input type="checkbox"/> なし 音声 <input type="checkbox"/> なし その他

40	コンテンツ情報...備考欄	1日あたりの標準学習時間は約15分～20分を想定しております
----	---------------	--------------------------------

(4) 学習者サービス情報

学習内容に関する質問受付

41	有無	あり
42	内容	標準で5回まで受講料に含まれています

メンタリングサービス(学習動機付け)

43	有無	あり
44	内容	学習進捗にあわせたチャリングメール、アラームメールを配信しヘルプデスク(操作方法等の質問受付)

ヘルプデスク(操作方法等の質問受付)

45	有無	あり
46	内容	電話でのお問合せ12:00～20:00 火曜日、土曜日、祝祭日および年末年始の特定日を除く毎日(Web、e-mailは随時受付)

その他学習者サービス

47	掲示板	オプションであり
48	受講(修了)後アフタケア等	なし

49	学習者サービス情報...備考欄	
----	-----------------	--

## 6 . WBT コース表示項目の説明

### 6 . 1 コース基本情報

ここには対象コースの基本情報が表示されています。

#### コース名

コースの名称が表示されています。

1 つのコースの中で複数の選択がある場合は、それぞれ別のコースとして登録されています。(例 : MS Word 入門で 2000 と XP それぞれのバージョンがある場合などは、別のコースとして掲載されています)

#### 会社名

対象コースを提供する事業者名が表示されています。

コンテンツの開発元が提供する事業者と異なる場合は、コンテンツ情報の「2 6 . 開発元」に表示されています。

#### 担当部署

対象コースを提供する事業者内の担当部署、問い合わせ窓口が表示されています。

#### 問い合わせ先

上記の電話番号、FAX 番号、メールアドレス等、連絡先が表示されています。

#### URL

コンテンツ(=教材)やサービスなど対象コースの詳細が説明されている Web サイトの URL が表示されています。



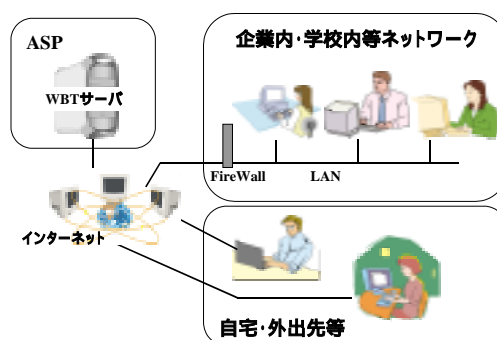
## 提供モデル

ASP<sup>\*1</sup>、イントラネット<sup>\*2</sup>、その他のいずれかが表示されています。

ASP によって提供されるサービスのうち、学習中もインターネットに接続している必要がある場合は「ASP(フルオンライン)」、コンテンツのダウンロードや CD-ROM 等の併用によりインターネットの接続を切った状態でも学習できる場合は「ASP (オンライン・オフライン)」と表示されています。

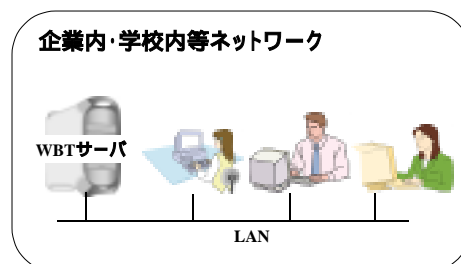
### \*1 : 「ASP」

ASP (アプリケーションサービスプロバイダー) による WBT コースのサービス提供のパターンです。インターネットに接続環境があれば受講できるタイプの WBT です。しかしセキュリティの関係でインターネットに接続できない職場のパソコン等からは受講ができないこともあります。



### \*2 : 「イントラネット」

自社のイントラネット上に WBT プラットフォームを構築し、そこにアクセスして WBT を受講するパターンをいいます。イントラネットに対して社外からのアクセスを禁止している会社の場合、職場の中のパソコンでしか受講ができません。



## 備考欄

コース基本情報の補足説明が表示されています。

## 6.2 学習環境情報

この分類には当該 WBT コースを受講する上で必要となるパソコンのスペック(ハード、OS、ソフト)と通信環境についての11項目が表示されています。ここでは、次のことを確認するのが良いでしょう。

- ・ 対象コースを学習するために必要となる環境が整っているかを確認する。  
パソコンの能力、通信能力などで学習可能かを判断します。あなたが教育担当者の場合、複数の受講対象者の環境を確認する必要があります。
- ・ コンテンツの中でどのような表現方法を利用しているのかを推測する。  
利用するソフトウェアから、当該コースコンテンツ内でどのような表現方法を利用しているのかを知ることができます。

### (1)PC スペック

#### 1. ハードウェア制限

コンテンツが動作するために必要な最低限の CPU、メモリ等、ハードウェアに関する制限が表示されています。 例)PentiumⅢ 800MHz 以上、メモリ 128MB 以上

#### 2. ディスク容量

必要とされるハードディスク容量が表示されています。参考資料や学習履歴など、ハードディスクに保存されるファイルの内容は項目11. に表示されています。

#### 3. 画面解像度

対象コースを Web ブラウザで表示する場合に必要な最低限の画面解像度が表示されています。「指定なし」と表示されている場合は、画面解像度に制限、制約のないコンテンツです。学習するパソコンのモニタの画面解像度が対応しているか確認してください。

#### 4. CD-ROM

CD-ROM ドライブの要否と利用する場面が表示されています。あればより効果的に学習可能になる場合は「推奨」と表示されています。

#### 5. OS

学習するパソコンの OS に対応しているかを確認してください。

#### 6. ブラウザバージョン

対象コースを学習できる Web ブラウザの種類とバージョンが表示されています。「対応」には、動作が確認されている Web ブラウザのバージョンが表示されています。十分な学習効果を得るためには、「推奨」のブラウザを利用するのが良いでしょう。

会社等で受講する場合などで使用するブラウザやバージョンが制限されている場合もあるので注意が必要です。

#### 7. Cookie の利用

Cookie の設定が必要になる場合「要」と表示されています。会社等によってはセキュリティの関係で Cookie の利用を許可されていない場合もあるので注意が必要です。

## 8．必要なソフトウェア(プラグインソフトを含む)

対象コースを学習する際に必要となるプラグイン、アプリケーションなどのソフトウェアが表示されています。ソフトウェアには有償であるもの、インターネットからダウンロードできず CD-ROM 等で配布する必要があるものもあります。会社等のパソコンで学習する場合でインターネットとの接続も行えない場合は、それらインストール方法を検討する必要があります。

## (2)通信環境

### 9．通信速度

「最低」には、学習効果が妨げられない必要最低限の通信速度が表示されています。「推奨」に表示されている以上の通信速度があれば、快適かつ十分な学習が期待できます。「推奨」に表示されている通信速度以上のネットワーク接続環境であることが望ましいでしょう。

### 10．メールアドレス

学習者からの学習内容に関する質問やレポートの提出、学習者への質問の回答や連絡などでメールアドレスが必要になる場合は「要」、あれば便利である場合は「推奨」と表示されています。対象コースによっては、これら受付や回答のサービスがメールのみで行なわれる場合もあるので注意することが必要です。「要」または「推奨」の場合は、学習者ごとにメールアドレスが与えられていることが必要です。

またファイルの添付されたメールや HTML メールが提供者側から送付される、フリーメールアドレス禁止、などの特記事項がある場合は項目 11．に表示されています。

## (3)備考欄

### 11．学習環境情報...備考欄

1．～10．の項目の補足説明が表示されています。詳細情報の説明がある Web サイトの URL や問い合わせ窓口の連絡先が表示されている場合もあります。

## 6．3 サービス基本情報

この分類には当該 WBT コースを受講する際の申し込み単位、受講料、学習者管理機能の有無等、学習サービスの基本情報についての 14 項目が表示されています。学習サービスを購入する際の基本情報ですので良くチェックしましょう。

### (1)申込方法

#### 12．申込単位

受講の申し込みが、個人、法人、あるいは両者いずれも可能であるかについて表示されています。その他申し込み区分などの特記事項がある場合は項目 17．に表示されています。

### (2)料金

#### 13．受講料(コース料金)

消費税込の受講料金が表示されています。個人ごとの受講料金がある場合は「個人料金」

に、10人まで○×円、11～50人まで△△×円等の団体料金がある場合は「団体料金」に表示されています。団体料金の場合は最低ロットでの料金が記載されています。その他ロット単位料金や追加事項に関しては項目17.に表示されています。

#### 14. オプション料金

追加サービスなどオプションを選択した際、上記受講料以外に必要な料金の有無が表示されています。「あり」の場合はその内容が項目17.に表示されています。

#### 15. キャンセル時の規定

受講申し込み後にキャンセルした場合の規定や、返金に関する取り決めの有無が表示されています。「あり」の場合はその内容が項目17.に表示されています。

#### 16. 支払い方法

受講料金の支払い方法が表示されています。「その他」の場合はその内容が項目17.に表示されています。

#### 17. 料金...備考欄

12.～16.の項目の補足説明が表示されています。詳細情報の説明がある Web サイトの URL や問い合わせ窓口の連絡先が表示されている場合もあります。

### (3)学習者管理

#### 18. 管理機能の有無

学習進捗やテスト結果の閲覧や出力など、教育担当者用の学習者管理機能が備わっているかどうかが表示されています。学習進捗やテスト結果などの管理している項目、管理項目の提示方法などは項目25.に表示されています。この機能がないと教育担当者は学習途中での学習者の進捗や達成状況の確認ができません。

#### 19. 学習者への連絡機能

受講者への一斉送信メールや TOP ページでのお知らせ欄など、学習者への連絡機能の有無が表示されています。学習者への連絡方法やその内容の作成方法などは項目25.に表示されています。

#### 20. プライバシーポリシー

学習者の名前、所属、住所、学習に関わる成績情報などは重要な個人情報であり、教育事業者はその取り扱いへの注意が必要です。ここには教育事業者のプライバシーマーク取得など個人情報保護に関する組織的な取り組みの有無が表示されています。

#### 21. SSL 対応

暗号化された安全な通信を提供するしくみである SSL(Secure Socket Layer)への対応の有無が表示されています。SSL に対応することにより学習者の個人情報はより安全にインターネット上でやりとりされますが、会社等のセキュリティポリシーによっては SSL 対応のサイトにアクセスできない場合もありますので確認が必要です。

#### 22. 修了判定の有無

紙の通信研修等と異なり、修了という概念を持たない WBT コースも多く存在します。ここでは学習者の修了判定の有無について表示されています。修了判定の方法については項目25.に表示されています。

### 23． 修了証書の有無

修了証書発行の有無が表示されます。学習者からの修了証の提示で会社が受講料の補助を行っている場合などは必須の項目となります。

### 24． 公的援助、認定

職業訓練給付制度等の公的援助制度やビジネスキャリア認定制度等への対応の有無が表示されています。

## (4)備考欄

### 25． サービス基本情報...備考欄

18．～24．の項目で補足説明が表示されています。詳細情報の説明がある Web サイトの URL や問い合わせ窓口の連絡先が表示されている場合もあります。

## 6.4 コンテンツ情報

この分類には対象コースの学習時間、ジャンル、受講対象、学習内容、学習方法、学習メディアなど15項目のコンテンツ情報が表示されています。

### (1)基本情報

#### 26． 開発元

コンテンツの開発元が表示されています。

#### 27． 制作改定年月

対象コースの最初のリリース年月、改訂を実施した年月が表示されています。コンテンツのテーマによっては、適切かつ定期的な改定が必要な内容もあるので注意が必要です。

### (2)期間情報

#### 28． 延べ学習時間/標準学習時間

受講を開始してから修了までを連続して行った場合の延べ学習時間が表示されています。学習時間の長さでおおよそのコースの分量が把握できます。延べ学習時間には個人差がありますので在籍期間内に修了できるペースで学習しましょう。

#### 29． 在籍期間

対象コースを受講可能な期間が表示されています。学習者は在籍期間内に学習を開始し、修了の判定を受けることができます。ASP 型の WBT コース(インターネット上の教育事業者のサーバにアクセスするタイプの WBT)の場合は、対象コースに利用することができる期間となります。

#### 30． 期間情報...備考

28．と29．の項目の補足事項が表示されています。また受講できる時間帯や、教育事業者が想定する標準的な学習期間も表示されています。

### (3)テーマと対象

### 3 1 . ジャンル

「企業内教育」、「学校教育」、「共通」の3つのジャンルに大別されています。教員、講師向けのコースは「学校教育」に分類されています。

### 3 2 . 対象とする階層、職種、業種

受講対象となる階層(経営者、管理者、新人・内定者)、職種(人事スタッフ、営業パーソン、〇〇技術者等)、業種(金融業、飲食業等)、年齢等、具体的な受講対象が表示されています。

### 3 3 . 受講前提

受講の前提条件があるコースの場合は「あり」の表示とともに、受講するにあたって必要な知識、スキル、熟達レベル(初級、〇〇資格 1 級等)や、「〇〇コース修了」、「〇×ができない人」といった具体例等、対象コースを受講するにあたっての前提条件が表示されています。

## (4)学習内容

### 3 4 . 概要(学習目標/ねらい/章立て等)

受講後の知識到達目標、学習のねらい、コンテンツの章・節・項構成等が表示されています。

### 3 5 . 学習内容詳細の参照先の有無

学習内容情報についての参照先 Web サイトがある場合は「あり」の表示とともに、参照先 URL が表示されています。

### 3 6 . 試用版の有無

試用版 CD-ROM や試用サイトの有無が表示されています。購入前に試用することにより、導入意図にそった学習内容であるかどうかを確認することができます。また受講者 PC 等の学習環境をチェックすることも可能です。

試用版の提供方法や試用の内容や範囲などは項目 4 0 . に表示されています。

## (5)学習メディア・学習方法

### 3 7 . 学習メディア

対象コースを構成する学習メディアの内、標準で提供されるもの、別途追加オプションで提供されるものが、それぞれ表示されています。

### 3 8 . 準拠している標準規格

準拠している標準規格がある場合は「あり(規格と Ver.)」の表示とともに、具体的な規格名、バージョン、動作確認されているプラットフォーム(Learning Management System:LMS)名が表示されています。

### 3 9 . 学習特徴

当該コンテンツで提供される学習方法や機能が表示されています。

#### 「動画ストリーミング」

ストリーミング配信等により、実技場面や講師の講義場面をパソコン上に動画で再生します。

#### 「音声」

ナレーション等音声画面とあわせて伝達されることにより理解度を増します。

対象コンテンツを学習するにあたり、音声が必要な場合は「あり」、音声がなくとも受講可能な場合は「推奨」、音声がない場合は「なし」と表示されています。会社の職場等で音声を再生できない学習環境の場合、音声「あり」だと受講できない場合もあり注意が必要です。

## (6)備考欄

### 40．コンテンツ情報...備考欄

31．～39．の項目の補足説明が表示されています。詳細情報の説明がある Web サイトの URL や問い合わせ窓口の連絡先が表示されている場合もあります。

## 6.5 学習者サービス情報

この分類には学習内容に関する質問の受け付け、メンタリング、ヘルプデスク等サービスについての9項目が表示されています。

一般にこれら学習者サービスは、イントラネット型コンテンツのサービスでは提供されていないサービスです。ASP 型コンテンツの利用を検討の方は次のことを確認すると良いでしょう。

- ・ 受けられる学習者サービスがどの程度あるかを確認する。

学習者サービスには大別すると3種類あります。1つ目が対象コースの学習内容に関する質問受け付けサービス。2つ目が学習活動を支援するメンタリングサービス。そして3つ目がコンピュータの操作方法などに関する質問を受け付けるヘルプデスクサービスです。あなたが企業の教育担当者の場合、研修の目的に応じてこれらのサービスの活用を検討すると良いでしょう。

- ・ 学習者サービスの提供方法の確認。

学習者サービスはオプションとして提供される場合が多く、個別対応する教育事業者も多いので利用する場合は提供方法やオプション料金を確認すると良いでしょう。

## (1)学習内容に関する質問受付

### 41．有無

学習内容に関する質問の受け付けサービスの有無が「あり」、「なし」で表示されています。別途費用が発生する場合、ケースバイケースで実施される場合は「オプションであり」と表示されます。

### 42．内容

41．の項目で「あり」、「オプションであり」と表示されている場合、学習内容に関する質問の受付方法(メール、Web、FAX、電話等)、受付回数や頻度、受付時間、受付から回答までの時間、回答者の属性が表示されています。学習者にとって利用しやすい環境であること、遅延なく学習を進められる条件であることを確認しましょう。

## (2)メンタリングサービス(学習動機付け)

#### 4 3 . 有無

学習者のやる気を持続させるようなメンタリングサービスの有無が「あり」、「なし」で表示されています。別途費用が発生する場合、ケースバイケースで実施される場合は「オプションであり」と表示されます。

#### 4 4 . 内容

4 3 . の項目で「あり」、「オプションであり」と表示されている場合、メンタリングの回数や方法が表示されています。学習者の進捗状況を見てメンターがアドバイスや励ましのメールを送る、学習者からの相談に乗るなどのサービスが、どのくらいの頻度で実施されるかを確認しましょう。

### (3)ヘルプデスク(操作方法等の質問受付)

#### 4 5 . 有無

コンピュータの操作方法などに関する質問を受け付けるヘルプデスクの有無が「あり」、「なし」が表示されています。別途費用が発生する場合、ケースバイケースで実施される場合は「オプションであり」と表示されます。

#### 4 6 . 内容

4 5 . の項目で「あり」、「オプションであり」と表示されている場合、PC の操作方法等に関する質問の受付方法(メール、Web、FAX、電話等)、受付回数や頻度、受付時間、受付から回答までの時間、回答者の属性が表示されています。学習者にとって利用しやすい環境であること、遅延なく学習を進められる条件であることを確認しましょう。

### (4)その他学習者サービス

#### 4 7 . 掲示板

学習者間、学習者と指導者間のコミュニケーションツールの「あり」、「なし」が表示されています。ケースバイケースで実施される場合は「オプションであり」と表示されます。

#### 4 8 . 受講(修了後)アフタケア

学習修了後の復習環境の提供、質問の受け付けといったアフタケアの「あり」、「なし」が表示されています。ケースバイケースで実施される場合は「オプションであり」と表示されます。

### (5)備考欄

#### 4 9 . 学習者サービス情報...備考欄

4 1 . ～4 8 . の項目で補足説明が表示されています。詳細情報の説明がある Web サイトの URL や問い合わせ窓口の連絡先が表示されている場合もあります。

## 7 . 最後に

『WBT コースカタログ読み方ガイド』いかがでしたでしょうか?このガイドは先進学習基盤協議会の e-Learning 評価項目検討ワーキンググループに集ったボランティアの手で作成された



ものを、2002 年度 WBT コース表示項目検討委員会にて、様々な立場の人のご意見を反映させて改訂したものです。ユーザの皆様がより e ラーニングに親しみを持ってもらうためには何が必要かを考える上で「e ラーニングの選びやすい環境」が必要と考えました。

冒頭にも書いたとおり、このガイドはコースの「善し悪し」は判別するものではありません。このガイドが皆様の「e ラーニングを選ぶ目」を養うきっかけとなっていただければ、検討メンバーにとってこれに勝るよろこびはございません。

今回作成した『WBT コースカタログ読み方ガイド』は、皆様が安心して e ラーニングを選ぶための「第一歩」です。ユーザの皆様、さらに教育事業者の皆様からのご意見をもとに、さらに良いものにしていきたいと考えております。ご意見、ご感想等がございましたら、ぜひ ALIC 事務局までアドバイスいただければ幸いです。

WBT コースカタログ読み方ガイド  
Version 2.0

2002 年 6 月 25 日 Ver.1.0 作成

2003 年 3 月 31 日 Ver.2.0 改定

著者：先進学習基盤協議会 コンテンツ部会  
e-Learning 評価項目検討ワーキンググループ

[contact@alic.gr.jp](mailto:contact@alic.gr.jp)

<http://www.alic.gr.jp/>

改定：WBT コース表示項目検討委員会

本書を無断複写複製(コピー)すると著作権者の権利侵害となります。